

(様式)

普及項目	担い手
漁業種類等	ノリ養殖
対象魚類	ノリ
対象海域	有明海

## 海苔養殖分科会での「ハラル認証取得」に係る勉強会の実施

県北広域本部水産課・永田 大生

### 【背景・目的】

有明地区漁業士会では、海苔養殖業の経営安定を目的として海苔養殖分科会を主催している。今年度は役員会で提案があった「ハラル認証」をテーマとして開催し、生産者が流通について関心を高め、商社等と連携した販売体制を構築する一助とすることを目的とした。

### 【普及の内容・特徴】

#### (1) 役員会によるテーマの検討

日時：令和元年(2019年)7月9日

参加者：有明地区漁業士会役員7名、水産課2名

内容：ノリ養殖分科会のテーマについて協議し、役員から①衛生管理の基礎、②他県におけるバリカン症対策、③雇用対策、④ハラル認証、について案が出た。そのため、役員会での協議の結果、今年度は、④ハラル認証をテーマとして開催することが決まった。

#### (2) 海苔養殖分科会

日時：令和元年(2019年)8月26日

参加者：有明地区漁業士10名、海苔商社4社、河内漁協職員1名、県水産職員6名

講師：一般社団法人 ハラル・ジャパン協会 佐久間 朋宏氏

#### 概要

「ハラルビジネスの基礎と水産加工の未来」という演目で①イスラム教について、②ハラルの基礎、③ハラル認証、④マーケティング、⑤事例、について説明があった。イスラム教徒が日本製品や健康に良い商品には関心が高い一方、日本人とは嗜好性が異なり、磯臭さが嫌いなこと、味が濃い商品を好むなどの紹介があった。ハラル認証は多くの認証機関があり相手が求める認証を取得する必要性について説明があった。

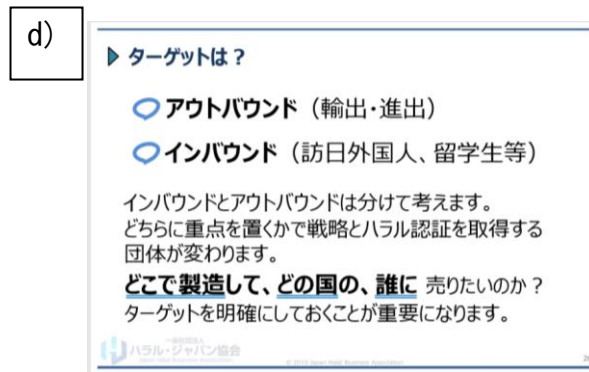
#### (3) 参加漁業士への感想聞き取り結果

分科会開催後、参加漁業士に感想の聞き取りを行った。その結果、①勉強になった。②生産者と商社の連携強化が必要、③商社向けの話等、流通に関心が高い漁業士とそうでない漁業士がいた。

### 【成果・活用】

参加漁業士から「勉強になった」や「商社との連携が必要」との回答があった。生産者に流通について考えてもらう機会を提供できたと思われた。

(様式)



e)

- 【参加漁業士の感想】
- ①これまでの内容と異なりおもしろかった。
  - ②商社向けの内容だったかな？
  - ③勉強になった。生産者が6次産業化に取り組むのは正直ハードルが高い。そのため商社が主導になり、生産者と連携した取り組みが必要だと思う。
  - ④ノリの生産から流通まで、詳細に勉強したい。ハラル認証は、ノリの販路拡大の一つのツールとして勉強したかった。今回、知ることができてよかった。次は、衛生管理の基礎について勉強したい。当たり前のことを、もう一度知りたい。勉強会が、生産者の生産レベルの底上げにつながり、単価向上につながるようにしていきたい。
  - ⑤勉強になった。海外の方々にノリを食べさせて、反応を聞いてみたい。
  - ⑥遠い話だった。興味がある漁業士には良かったのではないかな。
  - ⑦勉強になった。

(a) 開催状況 (b) 外部講師による講演 (c~d) 講演資料 (e) 参加漁業士からの感想(事務局の聞き取り結果)